



佐野中通信

ひたちなか市立佐野中学校
令和7年度学校だより
No.3 5月号
令和7年5月1日(木)

燐々照今よりよき今をともに創らん

四月の様子から!!

令和七年度が始まって早くも一か月が経とうとしています。これまでの期間に新任式、始業式、入学式、1年生の交通安全教室、新入生歓迎会、各種の健康診断、そして授業参観等、実に多くの教育活動を実施してきました。少しづつではありますが年度初めの慌ただしさを乗り越えて、落ち着きを取り戻しつつ日々の学校生活を送っています。

さて、1年生を見ていて思うことは、服も靴も何もかも真新しく感じられるということです。特に上履きはピカピカで、靴の踵をつぶさずに履こうという意識が見て取れます。このままいつまでも大切に扱ってほしいものです。

一方で、制服の着こなしはまだ慣れないようで、Yシャツの襟が飛び出していたりジャケットの襟が片方だけ立っていたり、ボタンが外れていたりといった様が男女を問わず毎朝見受けられます。穴が空いたものを着ているとそれだけで運が逃げて行くとも言われているので、ボタンの閉め忘れも然り、幸せを逃がさないよう、まずは身だしなみにはもっと気を配ってほしいものです。

これからまだまだ成長する中学生ですが、3年生も2年生も、1年生はなおさらです。部活動への1年生の正式入部は5月1日、部活動が始まってからが本格的な中学校生活の始まりです。食事と睡眠をしっかりと摂って、中学生としての体力を着実に身につけて、より逞しく自分を成長させてください。



1年生に関する話題にもう少しだけ触れます。上の写真は入学してまだ日の浅い頃の写真です。担任の先生の後について、様々な部活動の見学を行いました。最初のうちはクラスの全員が揃ってすべての部活動を見て回りました。昨年度に比べれば、より長い期間の体験入部の期間を確保することができたので、どの部活動に入部しようか、ある程度はじっくりと試行錯誤をすることができたのではないかでしょうか。本校では入部するかどうかは本人の意思にかかっています。新入生歓迎会では、「入部するにあたっては、続けられる部活動を見つけてください。」と話をしました。例年とがわざ、入部希望者の多い部活動とそうでない部活動の差が目立つのは気がかりですが、とにかくやると決めたら、週に三日から四日程度の限られた時間の部活動を、仲間とともに打ち込んで、自己を高められるといいなと思っています。

4月28日月曜日のことです。朝のあいさつ運動が始まりました。生徒会本部役員と生活委員会の生徒たちが幟を手に持ち、昇降口の外に立って登校てくる生徒を出迎えています。生徒会本部役員の生徒にとっては、令和6年の10月まで遡りますが、当時の立会演説会での公約に「あいさつ運動の活性化」を掲げた生徒が何人もいました。その表明した約束を果たすことも意識しつつ、何人の生徒が朝から元気に「おはようございます。」の声を響かせています。通りすがりのボランティアの生徒たちも加わってのり多くの人数でのあいさつによって、朝の風景がより明るく変わり、活気もみなぎっています。



あいさつ運動の幟は、佐野小・高野小・佐野中の3校とも共通です。それぞれの学校のマスコットキャラクターがそろい踏みのデザインです。既に周知済みですが、いよいよ表舞台に立つ日が来ました。あいさつの和が佐野中だけでなく、地域としての一体感をもって佐野地区全体に広がるといいですね。



生活の柱：時空人の「間」を照らす－時「間」・空「間」・人「間」

Key Word：時空人の間を燐々と照らして よりよき今をともに創らん

1年1組です。

入学式では、元気な声で返事をすることができ、中学校生活の良いスタートを切ることができました。写真は朝の読書の様子です。担任が声を掛けなくても8:10よりも前に読書を始めており、とても素晴らしいです。メリハリをしっかりとつけ、34+1人で良い学級を作っていきましょう。



4月7日に2年1組が始まりました。

2年1組の生徒は、授業中の先生の話を真剣に聞いたり、当番活動に責任をもって取り組んだりすることができる生徒が多いです。これから1年間みんなで過ごす中で、どんなクラスになっていくか、どんな成長をしていくのか、非常に楽しみです。

一緒に頑張っていきましょう！

3年生は6月にある修学旅行に向けて、2日目の班別研修の計画を立てています。有名なところは見に行きたい、抹茶ソフトは絶対に食べたい、など、各班の話合いが活発に行われています。限られた時間の中で京都のいいところをたくさん見つけられるといいなと思います。修学旅行がとても楽しみです。



今年度と昨年度の違いの一つとして、日課表の変更をしました。まずは、朝の時間です。8時10分からの十分間を読書の時間としました。本校の目指す学校像の一つは「…読書に親しむ…」学校です。まずは四月の朝の過ごし方が、読書活動が定着するかどうかの一つの物差しになりますが、各学年・各学級とも実に整然としていて落ち着きが感じられます。この積み重ねが一人ひとりの内面の変化、成長として自覚できるまでには時間がかかる、いや時間をかける必要があると思っています。曜日によってやることを変えるのではなく、佐野中の学校文化として朝の読書が根付いてほしいと思っています。一人でも多く、読書の楽しさにいつの日いか気づいてもらえればと願っています。

今年度はまだ令和7年度ですが、来年度の話をします。

令和8年度は本校創立八十周年にあたります。昨年度の一年間をかけて、学校運営協議委員やPTA運営委員の方々などに何度かそのことを伝えてきました。本校の沿革誌をひも解くと、近いところでは50、60、70周年とそれぞれ10年を周期として何がしかの記念事業を実施してきたことが記録として残っています。来年度には佐野中の歴史と伝統を参考にして記念事業を行うことを考えています。やるからには生徒のみんなと力を合わせて印象に残る活動にできればと思っています。今年度中に計画と準備に取り掛かりますので、保護者の皆様、地域の方々共々、その節は御協力の程よろしくお願い申し上げます。